

アジアの持続的な成長に向けて ——第15回アジア・ビジネス・サミットを シンガポールで開催

報告



筒井義信
つつい よしのぶ
経団連会長
日本生命保険特別顧問

アジアは、ルールに基づく自由で開かれた国際経済秩序のもと、広域かつ高度に統合されたサプライチェーンによる効率的な国際分業を推進し、高い経済成長を遂げてきた。一方で、国際情勢や経済社会の急速な変化を受け、地域が直面する課題は複雑化・多様化している。アジアが今後も持続的に成長していくためには、経済界が国境を越えて知見を共有し、連携を深めていくことが不可欠である。このような中、経団連は7月30日、シンガポール経団連(SBF)と共に、シンガポールで第15回アジア・ビジネス・サミット(ABS)を開催した。ABSは、経団連の提唱により2010年に始まった、アジアの主要国・地域の経済界代表

が一堂に会し、地域の持続的な繁栄に向けて対話を行う枠組みである。2026年は、11の国・地域から、11の経済団体が参加し、貿易・投資、サプライチェーン、デジタル・グリーン等をめぐる共通課題について活発に討議し、その成果として共同声明を採択した。以下、主な議論を紹介したい。

企業・経済界の主導的役割への期待

不確実かつ不安定な時代を迎え、企業には柔軟な対応力と中長期的な視点に立った経営が一層求められている。

議長を務めたマーク・リースBF会長は開会挨拶の中で、投資や成長のあり方が大きく転換する中、企業のリーダーシップがこれまで以上に重要であるとの見解を示した。私からは共同議長として、アジアの持続的な成長のためには、①国際経済秩序の維持・強化に向けた経済界の主体的な行動、②デジタル技術の急速な進展がもたらす諸課題に対する地域連携、③エネルギー安全保障・経済成長・脱炭素化の同時実現が必要である、と指摘した。

競争力強化に向けた 地域の連結性向上

アジア経済は総じて堅調さを維持しているものの、中東情勢の緊迫化や地政学的リスクの高まりを背景に、先行きには不透明感が増している。こうした中、地域の競争力をいかに高めていくかが問われている。

第1セッションの議論において、原典之審

デジタル・AIを活用した イノベーションの促進

AIをはじめとするデジタル技術は、アジアの生産性向上と新たな価値創造を実現する原動力である。

第3セッションでは、AIエコシステムやAIガバナンスの構築、越境データ流通の円滑化、サイバーセキュリティの確保などをめぐり、活発に意見が交わされた。AI時代においても、アジアの持続的な成長のためには、各国が競争と協調のもと、信頼あるルール形成を進めることの重要性を再確認する機会となった。

カーボンニュートラルの実現に 向けた取り組みの推進

気候変動問題が深刻化する一方、拡大する電力需要を踏まえ、エネルギーを安定的かつ経済的に確保することも重要な課題である。

第4セッションの議論において、佐藤恒治副会長は、アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)を通じ、多様な道筋によってネットゼロを実現することが重要であると強調した。また、資源セキュリティの観点から、サーキュラーエコノミーの推進を通じたグローバルなエコシステム構築の必要性を指摘した。中国、台



11カ国・地域から、11の経済団体首脳が参集(前列左から5人目が筆者)

議員会副議長は、外的要因に左右されにくい経済構造が重要であると述べたうえで、貿易・投資、サプライチェーン、イノベーション、エネルギー分野における地域の連結性向上に加え、人材交流・育成の促進を訴えた。シンガポール、インド、ミャンマーの参加者からは、AIをはじめとするテクノロジーを活用し、その効果を社会全体に波及させることが鍵であるとの考えが示された。各国・地域の経済情勢は一樣ではないものの、方向性としては、競争力強化に向けて地域の連結性を高めていくことで一致した。

ルールに基づく自由で開かれた 国際経済秩序の維持・強化

一国主義の台頭や保護主義的措置の拡大を

湾、タイを中心に参加者からも、技術開発や政策面での協調、人材育成等における地域協力の必要性について発言があった。脱炭素化は環境対応にとどまらず、投資を呼び込み、競争力につなげるための重要な戦略であることが改めて確認された。

ウォン・シンガポール首相を 表敬訪問

ABSの開催に先立ち、各経済団体の代表者と共にローレンス・ウォン首相を表敬訪問した。

ウォン首相は、アジアの持続的な成長には、地域経済統合の推進、AIをはじめとする最先端デジタル技術の活用、炭素排出削減など気候変動への取り組みが重要であると指摘したうえで、引き続きアジアには、民間企業主導で成長していく大きな可能性があると語った。私からは、参加者を代表して、アジアが抱える諸課題を克服し、持続的な成長を実現するためには、経済界の行動と連携が不可欠であり、そのための対話の場としてABSが果たす役割は大きいと述べた。

今回のサミットを通じて、アジアを取り巻く環境が大きく変化する中、地域共通の課題の解決に向けて経済界が協力を深める必要性を改めて確認できたことは、大変有意義であった。次回はマレーシアで第16回の開催を予定している。今後もABSをはじめとする様々な対話の機会を活用し、各国・地域との関係強化に取り組んでいきたい。



開会挨拶をする筆者



ウォン首相を各経済団体首脳と共に表敬